

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2015-01-07

APM news 118

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

APM活動について

中越地区研修会訪問 11月15日(土) pm 2:00 ~ 2:30 / 参加者: 13名
講師: たかだみつみ



11月15日(土)、新潟県中越地区の学校に勤務している教職員を対象とした研修会が、秋山孝ポスター美術館長岡(APM)、APM蔵を含む長岡市宮内・撰田屋において行われた。同研修会は宮内と撰田屋の歴史や取り組みを学ぶため行われ、その1箇所目としてAPMを訪れた。

当日は、学芸員・たかだみつみがAPMの成り立ち、行っている活動、館長・秋山孝などについて説明した。秋山館長は、新潟県の長岡市宮内に生まれ、現在は多摩美術大学で教授の職についている。美術を通じた社会貢献を人生の目標と定め、これまで情熱を注いできた。商業ポスターではなく、メッセージポスターを作り続けているのもそのひとつである。大正14年に建設された旧北越銀行の建物が壊されるかもしれないことになり、地元の有志から秋山館長のもとに美術館設立の話が出たときも、長岡の美術教育に貢献したいと、引き受けた。そうした秋山館長の情熱が周囲にも伝わり、サポーターズ倶楽部が設立された。APMの特徴のひとつは、他の美術館と異なり、運営において国や県、市からの助成を受けていない点である。APMは、APMの趣旨に賛同してくださる方々の寄付によって運営されている。それはサポーターズ倶楽部会員の皆様による寄付金であったり、ボランティアの人的な力であったり、備品の寄付であったりする。そういった力に支えられ、APMは「展示(アーカイブ)」「研究」「教育」という3つの目的から外れずに、活動を行うことができている。

APMの活動のひとつに「美術館大学」という講演会がある。毎回テーマに沿って1~4名の専門家をお招きして講演していただくものである。2009年のAPM開館に際して秋山館長が自作を解説したことがきっかけで始まり、2014年10月11日に26回目を迎えた。秋山館長が一人で講演することもあり、多摩美術大学教授・秋山孝の講義を長岡で聞くことのできる貴重な機会である。その他にもAPMは、ワークショップや、地域の教育機関である長岡市立上組小学校や長岡造形大学と連携した教育活動も盛んに行っている。

新潟県中越地区の教育関係者はAPMを訪れ、秋山館長の思い、APMの運営、活動についてどのように考えただろうか。一個人がその情熱によって美術館を設立し、故郷である長岡の美術教育に貢献しようと努力している姿を、そしてそれに賛同し協力する周囲の人々の姿を、どのように感じただろうか。APMについて理解してもらうこと、それが第一歩であると考えている。

(森山奈帆・APM職員)